

令和5年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る  
研究推進実施計画書

尾道市立御調中学校 校長 松栄 健吾

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

保護者・地域の期待に応え、信頼される学校をつくる

スクールミッション

地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進

目指す児童生徒像

- 自主：自ら学び、考え、判断し、行動する生徒
- 協同：心豊かに、自他を尊重し、共に学び、高め合う生徒
- 勤労：勤勉を尊び、夢や志の実現に向けて挑戦し続ける生徒

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

主体的に学ぶ力を育む教育活動の展開  
～生徒の学習意欲の向上につながる学習課題(問い)の工夫を通して～

(2) 研究主題の設定理由

昨年度の本校生徒の学力の実態として、「全国学力・学習状況調査」【3年生：4月実施】の結果を見ると、国語が67、数学が49、理科52であった。昨年度の全国平均正答率と比較すると国語・数学は平均値をやや下回り、理科はやや上回ったが、概ね全国平均値程度である。「標準学力調査」【1・2年生：1月実施】の2年生の結果において、全ての教科で全国平均正答率を下回り、学力の定着に大きな課題が見られた。1学年の結果においては、教科によりバラツキがあるが、概ね全国平均正答率と同様の正答率であった。一方で正答率が30%未満の生徒も全体の数%から10数%程度おり、学力面での二極化が進んでいる。また、生徒アンケートの結果から学習内容が理解できないと感じる生徒も多数おり、それによる学習意欲の低下も進行しつつある。そして、昨年度より公立高等学校の入学者選抜制度が大きく変更され、当日の学力試験のウエイトが高くなり、新たに「自己表現」といった内容も追加された。これにより生徒の進路実現可能な「基礎・基本」の学力の定着と、自己を表現する力を身に付けさせるための取り組みを早急に検討する必要がある。

こうした状況を踏まえ、本年度は研究主題を「主体的に学ぶ力を育む教育活動の展開」とし、副題を「生徒の学習意欲の向上につながる学習課題(問い)の工夫を通して」と設定した。本校の実情に即し、各教科の授業において、生徒の学習意欲の向上につながる学習課題(問い)の工夫に焦点を当て、主体的に学ぶ力を育成し、確かな学力の向上を図るものとする。

生徒の学習意欲の向上につながる学習課題の設定においては、生徒たちが興味関心を持って自ら取り組みたいと感じる学習課題を設定させたい。

例えば、①生徒の疑問を生かした課題、②日常生活と関連がある課題、③不思議さや驚きのある知的好奇心をくすぐるような課題、④多様な考え方ができる課題、⑤既習知識とのズレから考える課題、⑥既習事項を使って発展的に考える課題、⑦学習したことの良さを実感できる課題、⑧自分でなんとか出来そうだと思う難易度の課題などである。これらの課題を、ICTの活用や実物の提示、実体験をさせることなどを通して生徒に問いを持たせ、課題発見解決学習のプロセスを取り入れることで、生徒たちは学習に対する興味・関心が高まり、自発的・持続的に学習に取り組めるようになることが期待できる。さらに生徒が主体的に学習課題の解決に取り組み、自分自身で課題を解決していく経験を重ねていくことで学習の進め方が身に付き、より意欲的に次の課題へと進み、学力を向上させていくことも期待できる。また、基礎的な問題を繰り返し学習させることで、生徒が「分かる・できる」と実感する機会を増やし、学習意欲を向上させたい。

以上のように、学習意欲の向上につながる学習課題の設定は、生徒の主体的に学ぶ力の向上とともに、学力の向上にもつながると考え、本研究主題を設定した。

### (3) 研究のねらい

各教科の授業において、生徒の学習意欲の向上につながる学習課題(問い)の工夫を通して、主体的に学ぶ力を育み、確かな学力の向上を図りたい。

### (4) 研究仮説

各教科の授業において、生徒の学習意欲の向上につながる学習課題を設定することで、主体的に学ぶ力を育み、確かな学力の向上が図れるであろう。

### (5) 研究内容 (研究の方向)

① 各教科の授業で以下のような、生徒の学習意欲の向上につながる学習課題の設定ができるような工夫を行う。

1. 生徒の疑問を生かした課題
2. 日常生活と関連がある課題
3. 不思議さや驚きのある知的好奇心をくすぐるような課題
4. 多様な考え方ができる課題
5. 既習知識とのズレから考える課題
6. 既習事項を使って発展的に考える課題
7. 学習したことの良さを実感できる課題
8. 自分でなんとか出来そうだと思う難易度の課題 など

② 授業や宿題等で基礎的な問題を繰り返し学習させ、生徒が「分かる・できる」と実感できる機会を増やす。

### (6) 検証の指標

①-1 生徒アンケート「授業がたのしい」

①-2 各種学力調査に基づく検証テスト結果

②-1 生徒アンケート「これまでに学習したことを活用して、課題解決に取り組んでいる」

②-2 各種学力調査に基づく検証テスト結果

### (7) 到達目標

①-1 生徒アンケート肯定的回答 80%以上

②-2 正答率全国平均以上

①-1 生徒アンケート肯定的回答 80%以上

②-2 正答率 30%未満の生徒の割合 5%以下